

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 5月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900036		
法人名	有限会社 まつした		
事業所名	グループホーム なごみ		
所在地	広島県三原市明神二丁目11番13号 (電話) 0848-67-0294		
自己評価作成日	平成24年1月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490900036&amp;SCD=320">http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490900036&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年2月1日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・安心と安全を保ち明るく楽しいホーム作りに努める</li><li>・誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場でありたい</li><li>・笑顔と笑い声がいつも聞こえている、ほのぼのとした生活の場</li><li>・ひとりひとりの個性を生かしたケア作りへの努力と取り組み</li></ul>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームなごみ（以下、ホーム）は閑静な住宅街に位置するホームで、近くには、沼田川や三原城址のなごりを残す城町公園があるなど、入居者が散歩するのに恵まれた環境にあります。</p> <p>母体法人が医療機関ということもあり、入居者や家族にとって、医療面で安心したサービスが提供されています。また、代表者・管理者は、ホームを入居者の生活の場として捉え、常に入居者・家族側からの視点を持ち、明るさや楽しさを前面に出しながら、開かれたホームをめざし、入居者本位のサービスの提供に取り組まれています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関のよく見える位置に掲げ、管理者とスタッフで共有しミーティングの度全員で唱和し実現に取り組んでいる。	開設当初に掲げたホームの理念を共有されています。現在、新たな管理者のもと、体制の立て直しを図っているところで、理念の見直しも検討されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の方には常に挨拶し、入居者との外出時にも、明るく声をかけて交流し地域の行事にも参加させていただいている。	町内会に加入し、夏祭りなどの地域行事に参加されています。また、ホーム主催のクリスマスコンサートに、地域住民や家族を招くなど、日頃から地域とのつながりを持たれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域貢献に関する取り組みについては、ミーティングなどで検討を重ね、今後へとつながる努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回のペースで、当ホームにて開催しています。毎回、出席者の要望・意見など受け入れサービスの向上に努めています。	会議では、入居者のホームでの暮らしぶりや事故事例などを報告されています。また、ホームに入居して家族関係が良くなったとの報告が家族からあったり、町内会長からホームの運営について報告を求められたり、様々な立場からの意見をケアの質の向上に活かされています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居状況の提供や、入居希望者への対応などを行っています。	行政主催の説明会へ参加されています。制度の運用、解釈についてアドバイスももらうなど、行政との連携に努め、情報交換を積極的に行っておられます。また、市が主催する餅つき大会や夏祭りに招待されることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>管理者・スタッフ全員で、身体拘束のないケアを実施している。</p>	<p>身体拘束の弊害について、全職員が理解されています。ホームでは、入居者の人権を守ることがケアの基本であるという認識を持っています。現在、心身の安全に配慮し、やむを得ず、ミトンを使用されている入居者がおられます。ミトンの使用について、医師や家族と話し合うとともに、入居者の状態や検討した内容を1週間ごとに市へも報告されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者・スタッフ全員でケアし、現場での虐待防止について真剣に検討し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>スタッフ全員ミーティングで学習し、活用できるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時十分に説明させていただき、理解と納得をしていただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関口にご意見・ご要望を記入していただけるよう所定の用紙を用意しています。また、推進会議に家族の同席を求め要望など伺う機会を設けている。</p>	<p>家族の来訪時や電話、2か月に1回発行する「なごみ」便りで、入居者のホームでの生活の様子を報告し、入居者や家族の安心感が得られるよう配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月各ユニットでのミーティングで意見の交換を行っている。代表者にも出席を求め、提案や指示を受ける機会を設けている。	人員体制や異動の希望など、職員の意見や提案を聞く機会を設けられています。また、現場の声を常に代表者に報告したり、職員へのケアに取り組んだり、就労意欲を高める工夫をされています。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職務評価シートなどを活用し、職員個々の自己の研鑽をうながしている。介護職員処遇改善交付金の活用を行っている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部への研修や、ホーム内研修などを実施してケアの向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の同業者への研修や交流の機会を持てるように取り組んでいる。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人や家族からの話をし、できるだけ聴けるようにし、気持ちに向き合っているように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時家族の抱えている事柄を出来るだけ受け止め、安心していただけるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族がどのような生活を希望されているか、十分に聞き取りもっとも適したサービスは何かを共に見極めより良いケアを支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>スタッフは、レクレーション・おやつ・食事などを共にし、コミュニケーションを図り理解しあえる信頼関係を徐々に築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>常に、家族に状態や近況の説明をし面会時に記録の開示をし共に支える関係が出来ている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人友人の面会なども遠慮なく続けていけるような、支援を行っている。</p>	<p>入居者の希望に応じて、地域行事へ参加したり、昔住んでいた場所にドライブに出かけたり、入居者の毎日の楽しみや生きがいにつながるよう支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中で、なじみの関係が作れるような見守り、声かけをし、孤立しないよう配慮するように心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて、本人や家族との付き合いを大切にしていきたいと伝えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、家族の生活に対する意向はしっかり聞かせてもらい、出来るだけ意向にそえるように検討している。	思いを表現することが難しい入居者に対しても「決めつけない」ことを心がけておられ、入居者が生活に期待が持てるよう支援されています。一人ひとりの思いや意向を入居者の視点に立った支援ができるよう取り組まれています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴や馴染みの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人それぞれの現有能力の把握と心身状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は、本人や家族と相談し安全で生活しやすい実行可能な内容にしている。ユニットごとのミーティングで十分な検討をし、意見を反映した計画作成をしている。</p>	<p>定期的に介護計画の見直しをされています。本人の思いや家族の意見を確認したうえで、計画作成担当者が中心となって、入居者の状況や現状に即した計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケアの実践や様子など申し送りノートを活用しスタッフ間で共有し個人別に生活記録に記入し介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて本人・家族の意見や思いを時間をかけてお聞きする場を設けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催して民生委員・町内会長に支援を要請している。2ヶ月に1回のペースでボランティアの依頼をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医や提携医とより良い関係を築き、本人・家族の希望も聞きながら体調の安定に努め適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>希望する医療機関へは、家族の協力を得て受診することを基本にされています。家族の同行が難しい場合や緊急の場合には、職員が通院を支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在看護職員は勤務していない。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時も、また退院後も安心して生活が出来るように情報提供を依頼して、相談できる関係を築く努力をしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	随時、家族とスタッフ間での話し合いを持っている。必要に応じて主治医との話し合いも行っている。重度化した状態でも本人なりの生活が出来るように検討している。	入居者の重度化が進んでいることもあり、現在、看取りを希望されている家族が複数おられます。医学的処置が必要な場合を除き、入居者の思いを聴き、家族と話し合いながら、できるところまでホームで暮らし続けられるよう支援されています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	すべてのスタッフが、応急手当等の研修を受講しユニットでもミーティングを重ね、勉強し実践力を身に付けている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回、防災訓練を実施している。訓練時には、近隣の方にも協力をお願いしている。	避難訓練が年2回行われています。近隣のスーパーマーケットや地域の医療機関と合同訓練を行い、地域住民が入居者一人ひとりを毛布を使って避難誘導するなど、協力体制を築かれています。また、他事業所と共催で、年2回、市の救急救命士を招き、心肺蘇生法の訓練を受けるなど、入居者の急変や事故発生時に備えられています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の保護に気を配り、声かけや記録にも十分気をつけている。記録上でも個人名はアルファベット4文字にして表記している。	日々の暮らしの中で、入居者の人格の尊重に配慮した言葉づかいやプライバシーに配慮した対応に取り組まれています。また、記録についても個人が特定できないよう、名前をアルファベットで表記するなどプライバシーに配慮されています。	業務が忙しいこともあり、職員は共有エリアで入居者に関する話をされています。個人情報に配慮して情報交換をされていますが、今後は、第三者が聞いて違和感を持たないように、内容にも十分に留意されることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己の思いを表せるように働きかけ、生活の中で自己決定しやすいような声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の個性に合わせてレクリエーションや生活のペースを大切に、支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時、髪をとかしたり服を本人に選んでいただいたりしている。ホームでの散髪も支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を決めるとき、希望を聞きながら決めている。準備や片付けも出来る方には協力をしてもらっている。	入居者の好みを聞き、毎日の献立を決めておられます。現在、入居者も高齢化し、一緒に調理することが難しい状況にありますが、入居者の状態に合わせて、ミキサー食、刻み食にするなど、食べるための工夫を行い、食事が楽しみとなるよう取り組まれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の食事摂取量や、水分量は1日の目安を定め決められた量を一人一人の状態に合わせて支援している。実際の摂取量を記録に残している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人一人にあった方法で、清潔が保てるように口腔内のケアを支援している。義歯は、夜間外して消毒洗浄している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握しトイレでの排泄の支援をしている。</p>	<p>排泄パターンを把握し，声かけやさりげないトイレ誘導をされています。生活リズムや身ぶりを全職員が共有し，一人ひとりに応じた支援に努めておられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便状態をしたり、水分をしっかり取るように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個々の体調や希望を聞きながら，出来るだけ要望に応じられるように努めている。</p>	<p>入居者の状態に応じて，一部介助，見守りを行い，できることを本人にしてもらえるよう支援されています。個人浴槽であり，入浴時の補助具や脱衣所の暖房を設置し，入居者の負担の軽減に配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人一人の生活習慣にそって状況に応じた休息が取れるように配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	一人一人の用法や用量について理解し、副作用についても把握して支援に努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	日々の生活の中で、出来ることを手伝ってもらい、必ずねぎらいの声かけをし張り合いの有る日々を過ごしていただく支援をしている。調理や、歌など気晴らしの支援をしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	散歩や買い物などで戸外へ出かけられるように支援している。	春から秋は、入居者の体調等に配慮し、夕方の散歩が主な外出となっています。また、入居者が高齢化していることもあり、外出が難しくなっていますが、職員が買い物に行く際に、車に同乗したり、気分転換や生活の変化につながるよう工夫されています。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族の理解と協力で出来るだけ希望にそえるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族や知人などからの電話や手紙を自由に受けたり、受け取ったり出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースには、利用者が過ごしやすいように工夫を凝らしている。季節感などを取り入れて居心地良く過ごせるようにしている。</p>	<p>玄関先にプランターを置き、リビングに自然採光を取り入れておられます。また、壁には季節や節目に応じた貼り絵が飾っており、和やかな空間となっています。台所からは、料理する音が聞こえ、ご飯の炊ける匂いや配膳の様子も見え、生活感が感じられます。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペースに、ソファを置いて仲良く会話されたり新聞や本などテーブルを囲み楽しく過ごせるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室には、思い思いの物を持ち込まれ工夫して安心して過ごせるようにしている。また、家族との会話も遠慮なく出来るようにしている。</p>	<p>清潔が保たれた居室には、入居者の使い慣れたテレビなどが置かれています。ゆったりと穏やかに心地よく過ごせる居室となるよう工夫されています。</p>	<p>季節を感じさせる壁絵や掲示用の食事メニューの飾りなど、管理者が熱心に作られています。今後は、それらを職員と協力して作り、各職員が役割を遂行し、喜びを共に分かち合うことで、人材育成やより良いホームづくりにつなげられることを期待します。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の状況・状態を把握して安心・安全な生活スペースを支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>4項目の理念を設定し、日々の生活の中に取り入れている。「穏やかな生活」「生きがいの有る生活」「その人らしい尊厳を認め合う生活」「安心の出来る生活」</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>買い物や散歩の時、必ず挨拶している。行事の案内やお知らせをし、季節のお花をいただいたりしている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>入居者の手作りによる広告のくずかごを行事の度、参加者に使ってもらっている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議では、評価について説明を行い要望・意見を受け入れて改善に努力している。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>入居状況の提供や、入居希望者への対応を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	見守りを中心に注意深く、日々のケアの中で、防止に努めている。スタッフ全員で取り組んでいる。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	スタッフ全員でミーティングを重ね、実際のケアの中で見過ごすことのないよう注意し、防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度を利用していただける利用者の方がおられたので、スタッフ全員に説明を行っている。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には、十分な説明をしたうえで理解していただき署名をいただいている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	玄関にご意見・ご要望を記入して頂ける用紙を用意している。運営推進会議に家族の出席を求め意見を聞く機会を設けている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	毎月ミーティングを開き、経営者サイドにも出席を依頼し、提案などを聞く機会を設けている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職務評価シートなど活用し職員個々の自己の研鑽をうながしている。介護職員処遇改善交付金の活用を行っている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	外部研修やミーティングでの話し合いをしている。資格取得への努力やホーム内研修会を開き、意欲の向上につながるように努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	地域の事業所との交流などを行い学びの場を広げるように努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	本人、家族からこれまでの生活歴や家族に対する思いなど多面にわたり情報を提供して頂き、万全の態勢で受け入れる努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の不安や困っていることをゆっくりと聞く時間を持つようになっている。また、入居前の生活や様子を聞き相談相手になり安心して頂くよう努める。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホームでの生活が、本人や家族にとって良い結果に結びついたのかどうか見極めながら対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食事やおやつ作りなど、日常生活を共にしレクリエーションや四季を通しての歌を楽しみ、リハビリ体操などで体を動かし共に支え合っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には、日ごろの様子や生活状況を伝え記録の開示や説明をし共に支え合う努力をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>大切な友人、知人との面会の受け入れや電話や手紙のやり取りが出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	話し好きの利用者同士が楽しく過ごせるスペース作りや、一人一人が毎日笑顔で生活できる思いやりのある声かけをし楽しく明るい場所の提供に努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	要望があれば対応していきたい		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	家族の意向は十分にうかがい、本人の思いもしっかりと受け止め、プランの見直しをするよう検討している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	バックランド、経過発症シートの記入を家族に依頼し把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	バイタルチェックにより体調の把握に努め、日々の生活状況にも注意し必要に応じて主治医に相談、往診の依頼をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族それぞれの関係者から意見や要望をうかがって、思いを反映させたプランにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活を記入した介護記録や申し送りノートを活用共有して、ケアプランに反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じて管理者、スタッフが随時支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの協力で、明るく楽しい暮らしが出来るよう努めている。また、七夕コンサートやクリスマスコンサートで歌やふれあいの場を楽しまれている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>体調の安定をはかるため、協力医の支援を受け内科、整形外科、歯科など随時、又は定期の往診の対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在看護職員は勤務していない		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時は状況の提供をし、退院時は入院時の状態の情報提供を依頼したり、本人の面談も行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	体調の急変や重度化については、家族や病院スタッフ、GHスタッフで早い段階において繰り返し話し合いをし相談している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	消防署による救急救命の訓練を実施し、実践力を身に付けて事故対応に備えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回の消防訓練を実施して昼夜を問わず、利用者の安全を守るために全職員と地域の方へも協力をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	十分注意しながらケアに当たっている。記録上では、個人名はアルファベット4文字で表記している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個人個人で表出の度合いが違うので、利用者一人ひとりに合わせた声かけをし返事を待つように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者すべて、日中の過ごし方や生活のリズムが違うので、個々のペースに合わせてその人らしい生活のスタイルを支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みの服など聞きながら介助したり、ヘアクリーム、化粧水など使われたり利用者の家族の協力で散髪の支援もしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	色や香りの感じられる食事やおやつ作りなど楽しみをもっていたき、可能な限り出来ることはスタッフと一緒にしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養のバランスを考えた調理を心がけている。一人ひとりの水分量と食事はスタッフ全員で把握し、記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを支援している。義歯の方は就寝前には外し消毒洗浄に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し失敗や恥ずかしい思いをしないような支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事や水分をしっかり取ることで，なるべく便秘しないように努力している。食事などで予防できない時は，主治医に相談し対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>タイミングを見計らって、スムーズに気持ちよく入浴出来るような声かけに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの生活習慣に合わせて、自室でゆっくり休息できるように配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	スタッフ全員が、一人ひとりの薬をしっかりと理解し症状の変化に素早く対応できるよう支援している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	手伝いを通して、日々生き生きと生活してもらえるよう支援している。皮むきや洗濯干しなどスタッフと共に楽しみながら行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	散歩や買い物など外出できるようにしている。春は花見、秋は紅葉狩りと家族の協力も得て支援している。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族の協力で所持できるようにしている。買い物はスタッフの付き添いで外出している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば、自由に通信できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースでソファに座られたり、テレビや音楽を楽しまれている。また、リビングに季節感を感じて頂けるよう毎月壁画を工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりが思いおもいでCDを聞かれたり、本を読まれたりお喋りされたりと、自由に楽しめるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>面会に来られた時、楽しく会話されたりお茶を楽しまれたりされるスペースになっている。また、利用者の好みの物を置かれ安心して生活が出来ている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレには大きく書いたり居室は目印をつけたり工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム なごみ

作成日 平成 24 年 6 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者は、戸外への行きたいところへあまり行けていない	1人でも多くの希望をかなえてあげたい	人員体制の強化	平成24年度中
2	20	通いの場やグループホームに、馴染みの人などがあまり訪ねてこない	地域の行事に積極的に参加する	利用者やスタッフが地域の行事などに参加していく	平成24年度中
3		地元とのつながりや拡がりがない	運営推進会議を充実させ、地域の人々の参加を増やす	職員から地域に声かけなどを行い、つながりをもつよう心掛ける	平成24年度中
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。